



発行所  
 (一社)長野県保育連盟  
 長野市大字中御所岡田98-1  
 長野保健福祉事務所庁舎内(2階)  
 TEL026(228)4415  
 FAX026(228)9443  
 e-mail:kenhoren@khaki.plala.or.jp  
 https://horen-nagano.jp/  
 題字 海野会長

## 阿部知事と懇談、野中こども若者局長に要望書を提出

令和3年12月20日、海野会長と6名の副会長が、長野県庁で野中こども若者局長に「保育施策と予算に関する要望書」を提出。その後、阿部知事と懇談を行いました。

まず海野会長から、関東ブロック大会支援への感謝を伝え、「一緒に取り組みながら、『みんなで支える子育て安心県ながの』を追求していきたい」とあいさつしました。

阿部知事からは、「皆さんから課題をお聞きし、子どもたちのためにどういう保育をしていけばよいか、一緒に考えたい」とのあいさつがありました。

各副会長からは、小学校、児童クラブ、地域などとの連携の重要性、保育士の離職、正規職員の不足といった現状から、配置基準の見直し(少人数化)などの意見のほか、阿部知事に保育士体験などで現場に来ていただきたい、との要望がありました。

阿部知事からは、「学校との連携は、しっかりやっていく。現場には、できるだけ行くようにしたい。職員配置に関する財政的なことは、我々

も調べたい」との発言がありました。

知事懇談に先立ち、野中局長に要望書を提出、野中局長から口頭で回答がありました。

野中局長回答要旨(主なもの)

1 働きやすい環境になるよう保育士配置基準の見直しを、国に要望していきたい。

2 保育士配置への県単補助については、昨年も検討したが予算の確保が難しい。

要望があることは認識しており、考えていきたい。



### 要望書(要旨)

#### I 保育の質・機能の向上のために

- 1 保育人材の確保と人員配置基準の改善を進めていくために、長野県も国に対して必要な財源を早期・恒久的に確保するよう、強く働きかけてください
- 2 企業主導型保育事業について保育の質と安全の確保を図るため、適切な指導の実施とともに市町村の関与が行われるよう検討してください。

#### II 職員の資質向上と処遇改善を進めるために

- 1 キャリアアップ研修の開催、要件緩和等について
  - ① 短期間で要件を満たせるようリモート開催を含め、多くの研修機会を提供してください。
  - ② 過去の研修受講実績を通算できるようにしてください。
  - ③ 他県で開催される研修をキャリアアップ研修に認定してください。

#### III 「みんなで支える子育て安心県ながの」推進のために

- 2 信州幼児教育センターの幼児教育コーディネーター常勤化により、体制を強化してください。
- 1 「子育て支援総合助成金交付事業」については、今後も継続して制度を堅持するとともに、新たなメニューを検討するなど制度の拡充について積極的な対応をお願いします。
- 2 1歳児の保育士配置県単補助について、園児7〜9人の場合も園児6人と同様に補助対象としてください。
- 3 保護者相談体制の確保及び保育士負担軽減のため、保育士配置への県単補助をしてください。
- 4 保護者が保育現場の状況を体験する「一日保育士体験」を、首長、議会議員、行政担当者の皆さんも体験してください。
- 5 中核市とも十分連携し、県の保育行政を推進してください。

保育所地域子育て塾

乳幼児期の遊びの大切さと非認知的スキルについて

一般社団法人 家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見稔 幸先生

今、保育では『遊びが大事』と言われているが、このように言われるようになったのは、実はごく最近のことだ。なぜ保育で遊びが大事になったのか、遊びなら何でもいいのか、遊びを通してどんな育ちが期待されているのか、保育の歴史を振り返りながら考えたい。

1980年以前、保育は教育だという意識が強く、小学校の授業を薄めたような経験をさせることが多かった。保育士も、指示の上手さや管理の上手さ、難しいことに挑戦させる力量が問われ、跳び箱を何段も跳ばせるようにするとか、泳げるようにするとかの指導性が求められていた。「これができるようになることが保育の目標」という到達目標主義が存在していた時代である。

1980年代に入ると、こうした保育に対して「幼い子どもが本当にやりたがっているのか」、「子どもの意思、意欲、感情は無視をされ、できるようなった結果だけが評価されていいのか」という反省や疑

問の声が出てきた。このような保育の中で身に着けた力は長続きしないし、血肉化されていかないうことが分かったのだ。

さらに1983年、ファミコンが発売され東京デイズニーランドがオープンしたことにより生活が大きく様変わりをした。リモコン一つで何でも用が足せ、遊びと言えばテーマパークに行くことになり、子どもたちが外で遊ぶことや自分たちで考え出して遊ぶことが激減し、家の手伝いも激減してしまった。その結果、指示待ち人間がどんどん増え、非認知的スキルが育たなくなってしまうのである。

1970年代の子どもたちは、暮らしの中でおつかいを頼まれ、地域のお店の人と関わりを持ったり、空き地や土管の中で子ども同士で遊ぶことが日常だった。このような自由闊達な生活を送っていた子どもたちには

- ① 好奇心、興味、関心
- ② 試行錯誤力、失敗にめげない力
- ③ アイデア力、発想力

- ④ 勇気、チャレンジ精神
- ⑤ 相談力、組織力、リーダーシップ
- ⑥ 落ち込んでも立ち直る感情コントロール力、等々

いわゆる「非認知的スキル」が育てていたと言える。自己肯定感を持ち、その人らしい人生を豊かに過ごしていくために非認知的スキルを身に着けることは必要なことなのだ。

では非認知的スキルを育てるには、どうしたら良いのか。それは、昔のような暮らしをすればいいのである。自分で考え、工夫し、アイデアを練り、チャレンジする。失敗も自分で乗り越え、自分で達成し、自分で楽しめれば良い：すなわち『遊ぶこと』なのだ。そこで『遊び』を保育のど真ん中に置いてみようとなつたわけである。

そのためにはまず『深く主体的な遊びをいっばいできる保育園づくりをしよう』と決意することが大切だ。そして次の二つの側面からの環境づくりをしてほしい。

A…もの、こと、環境

子どもたちが安心して、落ち着いてた環境で自発的にあれこれしてみたいくなる仕掛けをつくること（例…園庭に粘土を大きな山のように置いておく、一部屋をアトリエにして自由に製作ができるようにしておく等）だ。保育室については、物のレイアウトについて考えたい。遊び場であ

りながらも落ち着いた環境の部屋になつているのか、むやみに走り回らない工夫はされているのか、3歳以上の部屋ならば一人につき一つの机があると更に落ち着けるであろう。また、音の環境も大切だ。できるだけ小さい音で過ごせる工夫を考えたい。

B…人という環境

保育士がどういう表情で、どういう言葉を使い、どのような振る舞いをしていくかが問われる。保育士の言葉に子どもは敏感だ。オムツ替えの時「オムツ変えてもいい？」と声を掛けているか？窓を開ける時「暑いから、窓開けるけどいい？」散歩の活動を予定する時「今日は散歩に行くけどいい？」と訊いてから出掛けているか？そうすることで、子どもたちは自分の考えを聞いてもらえる安心感を得、将来自分の考えを言える子に育っていくであろう。

豊かな遊びを誘うためには、保育士が子どもを観察し「子どもって面白い！」と心から感じ取れることが最も重要だ。

子どもたちのエピソードを具体的に語り合える職場づくりを目指すことで保育の質も上がるであろう。『子どものエピソードを楽しく語り合う』子どもって面白いを共有する↓保育って面白い↓環境を工夫してみよう↓遊びが面白い↓子が育つ』のサイクルが定着していくことで、非認知的スキルが育っていくのである。

保育所地域子育て塾

### 新しい時代の保育を語ろう

一人一人を大切にすることの意味を求めて

けやきの木保育園 園長 平松知子 先生

令和3年12月、1か月間、平松知子先生の講演がオンライン配信されました。コロナ禍で2年ぶりの開催です。コロナになる前は各地域に参集する講演会だったのが、オンライン配信によって、全ての講演会に参加出来る、私たちにとって価値ある機会になったことと思います。

二〇二〇年、私達の生活が一変しました。今まで当たり前に出来たことが出来ず、人として一番大切なこと（人との出会い、コミュニケーション）が日常から奪われてしまいました。平松先生は以下のようにお話し下さいました。

#### ○新しい時代

「こんな時代になるとはだれも思っていないませんでしたね。」

そうですね、大変な時代に突入しました。しかし、この大変な時代は本質が見える時代とも考えるきっかけになりました。しんどい時こそ視野を広く持つ。すると客観的に物が見えるようになる。この客観的思考で現在の保育を取り巻く今の社会を見てみましょう。

#### ○コロナ禍の状況

社会は感染の広がりから経済に影響を及ぼし、その経済不安が家庭内に、夫婦関係に育児に影響が及びました。そんな中で保育園生活は社会的資源としてなくてはならないものと位置づけられ、保育は経済を回す、社会の上でも要になっていくことが明確になりました。このように社会に欠くことのできない保育所はコロナ禍でどのような保育ができるのか私達が考えるきっかけとなりました。

コロナ禍になり、社会はデジタル化が一層浸透しました。親子のしゃべりの時間をなくし仲間との話合いもスマホ文化になりました。長い進化の過程で私達の脳やコミュニケーションの能力はそんなに変わっていないのに、そこにとても短いスパンでスマホやデジタル化が進んでいること、実はこれから大きな影響が及ぼされていくのではないかと危惧されます。このような社会だからこそ、「子ども自身も考えること、自分の気持ちを持つこと」を大事にする保育が大切なのではないかと考えます。

#### ○二つの自己肯定感

自己肯定感には、二つの感「自己充実感・自己安定感」があります。保育や子育てを自己充実感だけでやると、子どもの心が苦しくなりがちです。勝った時、一番の時しか褒めてもらえない。こちらの自己肯定感だけで育つ子は誰かを蹴落として自分さえよければいいという力が育ち、サバイバル社会まっしぐらです。

本当に大事な自己肯定感とは、自己安定感です。変わりたいのに変われなかつた、頑張ったけどダメだった、そんな自分だけど友だちはちゃんと分かってくれている。自分の気持ちを持った子は、みんなが共存共栄社会の一員と考えて行動することができようになります。

#### ○一人ひとりが大切にされる保育

子どもは自分の気持ちを分かってくれる人が好きです。子ども達の近くにいるプロの保育士なら、子どもの本当の思いに馳せることができます。私達は子どもを理解する専門職です。そのために私達保育士は、大人の都合の良い生活作りではなく、一人一人の子どもが自分の気持ちを持ち、どうやって毎日を暮らしたいのか、それを支えるために保育環境がどうあるべきかを考えて保育を行うことだと考えます。

#### ○大人同士の関係性

大人同士の関係性も保育と一緒、その人理解が大切です。子どもを

理解するプロフェッショナルの私達は、保護者の方や同僚の仲間達を理解する専門家でもあります。いろんな子どもがいる保育園だから、いろんな大人がいていいのです。大人も子どもと同じように、わかってもらえたという実感があって一人ひとりが尊重される社会になっていくのです。

いつもの忙しさにゆとりがないからといって、立ち止まることをやめて考えることをスルーしてしまわないようにと願わずにはいられません。

#### ○保育で社会を変える！

みんなに大切にされた記憶は、必ずこれからの人生にも役に立っていつてくれると思います。それが私達保育士としての役割ではないでしょうか。目の前の子ども達をしてその保護者たちは、大変な状況の中にいるのかもしれない。でもこの新しい時代だからこそ私達が求められる保育があります。その保育は私達がやりたい保育でもあるはずで

す。どうぞ皆さんと一緒にこれからも頑張っていきましょう。



保育所地域子育て塾

## 子どもの保育と保護者支援のポイント

「新」保育所保育指針を踏まえて

白梅学園大学 教授 師岡 章先生

師岡 章先生のご講演による子育て塾を、オンデマンド配信にて行いました。ここ10年の保育の課題として、子どもの育ちの変化、それ以上に保護者との関わりが上げられています。保護者とどう関わるか、また良い関係を結びながら、子ども達の健やかな成長発達を担う保育につなげていくヒントについて、新指針を踏まえてお話をいただきました。

### ◎保護者対応の基本

○子どもの育ちを促し、保育を充実させることが保護者対応や、良い関係づくりの基盤となる。目の前の子ども達の姿を捉え、寄り添うことで子どもと仲良くなり、意欲を持ち園生活が楽しく送れるように保育を充実させること。この充実なくして良い関係づくりは難しい。子どもの課題について家庭の影響ばかりでなく、自身の保育の仕方や課題を振り返り「親が変われば子どもも変わる」から、「子どもが変われば親も変わる」へと発想を変えていくこと。

○「今時の保護者」を理解する。今時の育ちや暮らしぶりが影響し極端な個人主義「私がすべて、私が正しい」と思ってしまう自己中心的な大人が親になる状況が増えていく。保育に子どもも理解が大切と同様に、親の生活、育ち、感覚、母親父親としての子どもへの関わり等を、冷静に捉えていかないと次の一手が見いだせない。

子育て支援策エンゼルプラン以降、利用者のニーズに答えるのが保育園の在り方と定着し、「先生」と呼ばれる職業が尊敬と言われる対象ではない近年、園と家庭が連携協力するには、子どもを真ん中に置き、両方の立場が対等であること、また家庭と園とが担う役割の違いをお互いに尊重しながら、最大限子どものためにできることを行っていくことが肝心。様々な保護者との対応には、価値観を持たず、白紙の状態で話しを聞く姿勢（全面的肯定）が、受容・共感となり問題解決につながっていく。

○保護者対応の勘所（ポイント）子どもと仲良くなることと同様に、保護者に信頼される良い関係作りをしていくこと。その先にいろいろなアプローチができる。あらたまった場での向き合いも大事だが、日々のコミュニケーションとして、ざっくばらんに本音で話せる立ち話を大切にしていく。

誠意を持っても担任だけでは解決が難しい場合は、園全体でフォローしていく。

### ◎園と家庭との連携・協力の方策

○『保育所保育指針解説』が例示する保護者との相互理解の手段や機会。

園からの一方的な押し付けではなく、保護者の思いを受け止め、相互にやり取りをしながら、子どもがより良く育つためにお互い何をしたらよいかを共有化するために、以下の六つの方法が上げられる。

- ・連絡帳、保護者へのお便り（ポートフォリオ）壁新聞のような物を活用することで共有
- ・送迎時の対話
- ・保育参観や保育への参加
- ・保育参加により、集団の中での育ちや課題、園の保育の奥深さ、保育士の専門性等を実感し、関係作りが進むことにもつながる。

- ・親子遠足や運動会などの行事
- ・入園前の見学
- ・個人面談、家庭訪問、保護者会

○保育者に期待される役割

良い関係につながる日々のコミュニケーション等を大事に進めていく上で意識したい関わり。

- ・園の方針をわかりやすく伝える（伝達と説明）

保護者の状況や子どもの実態に合わせた、具体的な示し方や伝え方を心がける。

- ・若手の保育者支援

経験を重ねた保育者により、若手の保育者を守り育てる。

- ・保育者のシフトの工夫

保護者と対話できるよう、勤務時間を考慮する。

- ・多様な職種の活用と役割分担

調理員、栄養士、看護師等多様な職種を活用し役割分担していく。

- ・専門機関との連携

園だけで解決が難しい問題は、地域の専門機関と連携をしていく。

また、園として組織だった取り組みを進める中で、必要性を感じ専門機関につなげようと目が向けられる保育者が増えることを願いたい。

# コロナ下における保育所の食育について

長野県民文化部子ども若者局子ども・家庭課  
保育専門推進員兼私学振興専門員 飯田 光子

令和3年4月より、長野県子ども・家庭課にて保育専門推進員兼私学振興専門員をしております飯田光子と申します。どうぞよろしくお願いたします。

日頃より、長野県の保育・子育て支援施策の推進にご協力頂きありがとうございます。

令和2年から、新型コロナウイルス感染症のまん延により、子どもたちを感染から守るため、注意を払い保育所運営されていることと存じます。

感染予防と子どもたちの健やかな育ちの両立を図ることが大切です。保育所給食・食育においても同様です。既に当課から市町村を通じて各施設に通知しているとおり、まずは、基本的な感染防止対策として次のことを適切に講じていくことが必要です。

ア 基本的な感染対策の徹底

ゼロ密、正しいマスクの着用、手洗い、手指消毒、定期的な換気等を徹底する。

イ 健康確認の徹底  
ウ 体調不良時には、登園・出勤せず、早期受診するよう促す。  
エ 家族が濃厚接触者等に特定された場合の対応

当該家族の検査結果が判明するまで、登園・出勤を慎重に判断するよう注意喚起する。

オ 風邪症状等がある家族・親族等と接触した場合の対応  
当該家族・親族等がかかりつけ医等に相談した結果を確認するなど、登園・出勤を慎重に判断するよう注意喚起する。

適切に感染予防、感染拡大の防止に取り組むことは、園児、職員の健康を守ると同時に「保育所等の安全を守る」ことにつながります。

給食(食事)中に気を付けることとしては次のことがあげられます。  
・食事(おやつを含む。以下同じ。)の前後の手洗い、テーブルの

消毒を徹底すること。  
・食事中は飛沫を飛ばさないよう、十分な距離の確保、パーティションの設置、座席の配置等を工夫すること。  
また、食材を扱う行事(ひな祭り、卒園・進級関係のお祝い会食等)についても安全性が担保されない場合は計画の見直しや中止・延期の検討が必要です。

ここで、保育所訪問をさせていただく中で実施されていた好事例を紹介いたします。

「黙食」を徹底しており、おかわりの必要な子どもは静かに手をあげて保育士に知らせる。  
・クラスを半分に分けて可能な限り人数を減らして食べる。

・給食中の換気。  
・机と机の距離をあける。  
・空き部屋の利用。

・給食室への受け取り・下膳の時間差。  
・食後も必ず手を洗ってから次の活動を始める。

・食後の歯磨きやトイレの利用人数の調整(最初にしたい人、後でしたい人)。

・外部業者と接触する際は、検温等の健康観察の実施、接触時の距離、換気に注意しながら短時間で行う。

・保護者には食べている様子をお迎えるの時や帳面・おたよりでお知らせする。

好事例で紹介した黙食を実施している園では、黙食により言葉を発しなくても、おかわりを配る際には、目で優しく合図をしたり、トイレから戻った子どもにはうなずいたり、「優しく見守っている」姿がありました。

保育所給食(食育)は単に栄養補給だけでなく、心を育てる時間でもあります。

基本的な感染防止対策を行いつつ、楽しくおいしく安全な給食の提供を通して心豊かになり、食への興味・関心が高まることに期待いたします。



<距離をとりながらの食事風景>

# 「コロナ禍での研修をどのようにすすめるか？」

北信保健福祉事務所 福祉課

保育専門相談員兼私学振興専門員 宮澤 栄一

保育園等では、感染症防止対策を徹底されていますが、やむを得ず休園せざるを得ない園も増加しています。私も毎日の体温測定、早めのワクチンの3回目接種など可能な対応をとりながら計画訪問等を実施してきました。1月末時点で訪問を振り返り、私を感じたことや学んだことを以下にまとめました。

## 「幼児」と「小」の教育とは？

保育における「教育」とは、何でしょう。「子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である。」「保育所保育指針 第2章 保育の内容」とあります。教育基本法には(幼児期の教育)として第十一条に、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである…とあります。さて、小学校では？

それぞれ教育のイメージが違ってきます。一般の方は「保育園で教育やっているの？」という認識が多いのではと感じます。発信が必要で、「育ち」については日々子どもたちの

成長の姿から見えやすいですが、「学び」はどうかであったかの視点で捉え直していくと観えてくるのではないのでしょうか。

子ども同士の「交流」にとどまらない「接続」へ目を向けていく市町村も増えてきています。子ども中心に施策を進めていく行政に参考となる事例も多くありました。

## 園内研修をすすめるには？

子どもの様子を直接参観することができにくい昨今、研修方法は5年前と比べずいぶん変わってきました。計画訪問では、午後の話し合いをより具体的にするために、子どもの姿を動画に撮りました。タブレット端末で子どもの目線(撮影者の腰の高さ位)で撮影するとよいでしょう。保育士等研修会でも使いました。

研修は命、研修の大切さを理解されている園長先生がとて多いことを実感した1年間でした。午後の話し合いを終えた後、「保育士もほめられるとうれしい。」「もう一度頑張ってみたいと思います。」「ベテラ

ンの保育者)の言葉が心に残っています。

なお、園外での研修で学んだことをそのまま自園に取り入れても当然うまくいかないことが多いもの。「もし、自分の園であつたら…」と当事者意識をもって考えることによって新しい方法が生まれてきます。

話し合う視点として、指導案に評価の記述が多くなりました。言葉や文章にすると明確になります。【子どもにとつてどうなのかの観点で】

## 乳児のことばの獲得は？

マスクで口元が見えない子どもたち。保育者は目で意思疎通をはかっているなど感じます。高い専門性、自信をもって保育にあつてくださいます。表情豊かに接したいのですが、顔の半分以上が隠れています。まさに「目力」がものを言います。国立教育政策研究所の幼児教育研究センターによると、国際的に見て日本の保育者は「話をしたり聞いたりするときは子供の目線に合わせる」ことによく取り組んでいるなど、日本の保育の特長が表れています。「OECD国際幼児教育・保育従事者調査(2018年)」と報告されています。口元を含めた表情を見ることが望ましい局面などでは**透明マスク**の活

**用が考えられる**「新型コロナウイルス感染症対策に関する保育所等に関するQ&A(第十二報)1月24日現在」とあります。

子どもとの距離や音量に配慮し使われるようになるのではないのでしょうか。

## おわりに！

相談員として5年の年月が過ぎました。ほぼ10年ごとに「改定」される保育所保育指針も5年目に入ろうとしています。5年前は当たり前だったことが当たり前でなくなってしまうことは誰もが感じることで、5年後はいつたいていどうなっているのでしょうか。長年、教育の窓口から保育を見るが多かったのですが、保育者の皆さんとお話を重ねていく中で、「子どもの笑顔があるから続けられる。」「大変だけどやりがいがある。」といった声を多くお聞きしました。保育の窓口から教育を見直すことで教育の現場にも通ずることや改善点が見えてきました。

保育現場に関わる者として、また応援団として積極的に発信をしたいと思えます。

保育をとりまく環境は毎年激変していますが、子どもたちのために最善を尽していきます。

# 「心豊かな子ども」の育ちを願って

上田市北保育園 園長 竹内真弓

上田市公立保育園では「心豊かな子ども」を育てるという統一した保育目標があります。しかし「心豊か」とは、いったいどんな子どもなのでしょう。そして私達保育士は、どのようにしていったら、そうした子どもに育てていけるのでしょうか。

この冬一番の寒い日の朝にこんな園児の姿がありました。

A児「園長先生、見て見て！(はあく)と息を吐く)口から白い物が出てるよ！この白いのなんだろうね」

園長「(はあく)ほんとだ、白いね。これはなんだろうね」

登園してきた年長児のA児は、テラスでそう言いながら保育室へ入っていききました。すると、先に登園していたB児を誘って再びテラスに戻ってきて、A児「(はあく)なっ、白いだろ」  
B児「(はあく)ほんとだ！白いな」  
と二人で庭に向かって「(はあく)」と、何度も何度も息を吐き出しながら、顔を見合わせ笑っていました。口から出る白い物を不思議に思ったA児が、私や友達に自分が感じた驚きや感動を

伝え、そこで他者との気持ちのやり取りをすることができました。きっと、A児の心の中は、自分の感じたことを他者が受け入れてくれたという満足感でいっぱいだったことでしょう。

保育園の子ども達のこのような姿を見てみると「心豊かな子ども」とは『安心できる保育士に見守られながら、自分の興味や関心・考え、やりたいことと、やってみることが適切な環境の中で実現・達成でき、十分に満ち足りた状態であること』なのではないかと思っています。

「心豊かな子ども」が育つには、ものや現象との出会いから驚きや疑問を持ち、自分の興味のあることや、やってみることを『自分で考え、自分で選び、自分で決めて、自分で行動する(やってみる)』その体験・経験で感じた気持ちの積み重ねと、そうした気持ちを他者とやり取りをしていくことが『心豊かな子ども』につながっていくものと、私の保育歴の中で子どもの姿から教えてもらいました。

しかし、「心豊かな子ども」を目標と

した保育を行っていくには、やはりそこには「心豊かな保育士」の存在が必要となります。

『どうして?なぜ?』

『〇〇やってみないな!』

『私は〇〇って思うんだ!』

『今は〇〇をしたいんだよ!!』

という子ども達の驚きや疑問・願いの気持ちを理解し、共感しようと保育士は、

「そうなんだ。〇〇さんは今、〇〇って思ってるんだね」

「さすが〇〇ちゃんだね。凄いこと発見したね」

「もしお手伝いすることがあれば言ってみてね」

とまず、子ども自身の思いからスタートし、見守りサポートしていくこと。



子ども達が目を輝かせて遊んだり、取り組んだりしている姿を温かく見守りながら、子どもの『心が動いた』瞬間を見逃さず、その時に生まれた気持ちや喜びを共に感じ合えること。どうしたら子どもの心が豊かになるのかは、関わる保育士の豊かな感性や心の豊かさ等に比例しているのかもしれない。

当園は、園児数が五〇数名の小規模園です。少ない園児数だからこそ、ひとりひとりの園児により丁寧に目を配り、寄り添い、個々の思いをつかみ、共感し、サポートしていくことができます。また、そうしていくためには職員のチームワークが必要になってきます。

『私の最大の保育の先生は子ども』です。子ども達から出てくる言葉や姿から学ぶことがたくさんあり、自身の保育を振り返りながら次の保育のヒントやアイデアが生まれます。まだまだ小さい子ども達ですが、どの子ども大きく飛躍する可能性を秘めています。これから様々な体験や経験を積み重ね、大人になった時に、乳幼児期を過ごした保育園で学び得たものや育んできたものを糧として、豊かな人生を過ごしていけるようにと願っています。

# 絵本との出会い、心豊かに育つことを願って

諏訪市 豊田保育園 園長 藤森 貞恵

諏訪市では長年にわたって、「食育」「運動」「絵本」を3本柱としてテーマに据え、一人ひとりの自立と仲間とかかわる保育活動をめざして実践を重ねてきています。

昨年、今年度と「絵本」をテーマに各園が取り組みました。

豊田保育園でも、絵本と出会い、触れあう中で子ども達の心の動きや表情、つぶやきを丁寧に見とり寄り添いながら、心豊かに育ってほしいと願い実践してきました。

1歳児クラスのことで。A子が『おべんとうバス』の絵本を保育士の所に持ってきて、ひざの上に座ってしばらく見ていました。すると、B子が近くに来て、絵本の中の「はい」のフレーズに合わせて手を挙げました。保育士がA子に「B子ちゃん、トマトちゃんになったんだって」と声をかけると、A子は「うん」と言いながらトマトを指さしました。B子も手を挙げたり指さしたりして楽しむ姿が見られました。そこから、一緒にいた保育士は、絵本の世界を身近に感じられるようにと、お弁当

バスの手作り玩具を作り、さりげなく棚に置いておきました。すると、それに気づいたB子が手に取り、手作りバスの中に入っていた食べ物を全てテーブルに並べて遊び、保育士の「みんなそろいましたか？」の言葉に「まだです」と答え、バスの中に食べ物を入れると椅子に座って「いただきまーす」と手を合わせていました。その後は、手作り玩具で遊んでいると、「おべんとうバス」の絵本を持つてきては楽しむ姿が見られました。

ほんの些細な場面ですが子どもの姿から、保育士が絵本と同じ手作り玩具を用意したり、タイミングを見てさりげなく棚に置いておくことで子ども達は絵本に親しみ楽しむ姿が見られました。



5歳児のクラスでは、雨の時期、身近に感じることができたらと思いい、担任の保育士は『おじさんのかさ』の絵本を読み、その絵本を別の日にもう一度読んだ時です。C男は小さな声で「ポンポロン・ピッチャンチャン・」と小さな声でつぶやきました。

また別の日に絵本を読もうと『おじさんのかさ』を出すと、E子は「おじさん最後はかささすよね」C男は「ほくこれ好き」とつぶやいていました。

そして、ある雨の日には、C男「先生聞いてよ」保「どうしたの？」C男「かさをさしていたら聞こえたんだよ」保「何が聞こえたの？」C男「ピッチャンチャンって！」保「おじさんのかさのこと？」C男「そうだよ！」C男「ねえ、E子ちゃんも聞こえた？ピッチャンチャンって」E子「おじさんのかさのことだよね？聞こえたよ」と会話があり、絵本の中のフレーズを楽しんでいるようでした。

そしてしばらくして、また雨の日のこと、C男「また聞こえたんだよ」E子「ピッチャンチャンって」と嬉しそうに担任の保育士に話をしました。そして、『おじさんのかさ』の絵本をじっくり読み、保育士にC男は「おじさんと同じ音が聞こえたんだ

よね」と伝えていました。

一冊の絵本から、絵本の世界を楽しむ姿を保育士は温かく見守っていました。



二つのクラスの保育士は、新入と2年目の保育士です。子ども達の思いに寄り添い、子ども達の声に耳を傾け関わる姿勢やありのままの思いを大切にしていくなかで、学ぶものがあり心温まるものでした。

子ども達は純粋で、絵本の世界と共に、イメージを膨らませたり、保育士や友だちと共有・共感の中で心が育っていきます。絵本の世界をたくさん感じて楽しみ、絵本が幸せな記憶として覚え残っていくといいなと思います。

コロナ禍で保育も大きく影響していますが、子ども達がいつも笑顔で目を輝かせ、人との関わりの中で心が豊かに育ち健やかに育っていくことを願っています。

# 「つながる 広がる やまほいく」



木曾町 開田保育園 主任保育士 田中 宏樹

開田保育園は、霊峰御嶽山の麓、標高およそ1100mの田畑や森林が広がる開田高原にあります。隣接地のデイサービスセンターや小学校とは交流をさせてもらっていますし、少し歩けば木曾馬の牧場もあり、エサをあげ触れ合う体験もできます。このような恵まれた環境を、より意識的に子どもの育ちにつなげていくため、また地域からの要望も受け、「やまほいく」の認定を受けています。

当園は以前より畑活動が盛んで、トウモロコシ、トマト、さつまいも、ジャガイモ、枝豆、ピーマンなど、様々な野菜を栽培しています。

園の広い畑は、園児も遊びに行かせていただいている牧場の方が、重機を使って牛糞の堆肥を畑に撒いてくれます。広い畑に大型重機で堆肥をまく光景を、子どもたちはフェンスにかじりつき「○○さん、がんばれ」と応援しながら見えています。種まきや苗植えをし、日々水やりをする子どもたちは、大きくなって

くる野菜の様子や野菜に集まる生き物にも気がつくのです。ある日、年少児がキャベツにたくさんの青虫がついているのを見つけ、クラスでケースに入れて飼うことになりました。しばらくして次々にさなぎになりました。飼育ケースから抜け出た青虫が子どもの椅子の脚でさなぎに変身。クラスでさなぎを見守りながら、チョウチョになるのを待ち、無事成虫となった姿を見届けることができました。

畑の野菜は、収穫し給食で、また持ち帰って家庭でいただきました。そして園では味噌づくりや郷土の漬物「すんき」作りにも挑戦しています。

また、バケツ田んぼでは、小学



校の馬耕や田植えを見学し、足踏み脱穀機や唐箕など昔ながらの道具を体験し、最後は火を焚いて飯ごう炊きをし、おはぎをつくりました。このように地域の方の協力から始まった畑活動ですが、飼育や調理など、これ以外にも多くの経験につながっています。

今年度からの取り組みとして、地域の方にヤギをお借りして飼うことになりました。園庭の除草という目的もありますが、「相手の思いに思いを寄せようとする態度」につながればという願いを持ちました。

はじめは近づいてくると「キヤー」と逃げていた子どもも、草を持って恐るヤギに近づき「おいで」と手を伸ばして、食べてくれると「食べたよ、私の草たべてくれた」と大喜び。お家からヤギのために、野菜の切れ端を持つてくるようにもなりました。

年長さんは当番で小屋の掃除やエサやりを。毎年恒例の神輿づくりでは「やぎを乗せたい」と子どもたちが即答。牛乳



バックで作ったヤギを神輿にして担ぎました。秋、いよいよヤギを持ち主に返す日が近づいてきました。ここでも年長さんたちが「お別れ会やろうよ」「じゃあ、ヤギに歌を歌ってあげよう」「草でケーキをつくるのはどう？」などいろいろなアイデアを出してくれました。草ケーキをつくる時には、「あそここの草をよく食べていたから、たくさん入れてあげよ」と相手の思いに思いを寄せるような言葉がも

ちろん、それ以外の場面でも「ヤギの思いに思いを寄せる」言葉が子どもたちからたくさん聞かれました。これら畑、飼育、調理やヤギとヒト、また遊びなどでも、ひとつの活動がさまざまな分野とつながり広がっていますし、当園では保育者も意識してそう働きかけていると今回の執筆を機に改めて思いました。

そして、このことが子どもの関心を高め主体性を誘い、子どもの育ちを支えるひとつと考えています。これからも、生活と遊びと活動、園と家庭と地域、子ども同士など様々な「つながる 広がる」保育を意識し、子どもの心に故郷の温かい「原風景」を育むことができればと思います。

# 一人ひとりが尊い人として育つ

長野市 吉田保育園 園長 海野 和貴

長野市北東部吉田地区内、江戸期参勤交代や佐渡金山から江戸までの金の搬送に使われるなどの役割を担い、また小林一茶が柏原へ帰省する際、「白鳥山(善敬寺)の鐘をきき」と記す(句文集『志多良』文化10年(1813)の記録)など歴史ある北國街道沿いに位置する善敬寺境内に当園は開設されております。

江戸期寺子屋が開設され明治6年(1873)に長野市立吉田小学校の前身である「積成学校」が設置された御影堂という学びの場を昭和24年(1949)に地域の子どもたちに開放し当園が創立されました。

お寺の境内の緑豊かな静寂の地に日々、子どもたちの群れ集う明るい声々が響いております。

## お誕生会をおして

仏教保育を展開する根本は、仏さまの慈しみのおこころである、一人ひとりの存在を尊び認める「あなたはあるあなたでいいのです」の願いと、悲しみのおこころである、一人ひとりに寄り添う「あなたを決して離す

ことはない」の願いです。

当園はそのような願いの中、隔月の行事として「お誕生会」を開催します。誕生児一人ひとりをお祝いし自分の尊厳に気づき、他者の存在を尊べる心を育んでおります。また、会の終わりに、「あやちゃんの生まれた日」(1984年初版浜田桂子作・絵)や「ちいさなあなたへ」(2008年初版アリスン・マギー文ビーター・レイノルズ絵ながわちひろ訳)など子どもの誕生に纏わる絵本の読み聞かせをしており、参観の保護者の皆様にも好評をいただいております。



## 児童発達支援事業所との出会い

一人ひとりが尊く

日々の保育のなかで、特性のある園児への支援、配慮及びクラスづくりが課題となっております。保育士が各種の研修を受講したり園として勉強を重ねて、実践しても、果たしてこれで当該児童の発達のための支援になっていることなのか、不安が募り自信を失う中、保育を行ってまいりました。そのような折、昨年度、児童発達支援事業所「にじいろキッズらいふ」さんに通う児童の入所をご縁として担当の支援員さんに現場の悩み不安等を相談したところ「巡回訪問事業」があるということをご教示いただきました。

昨年度年4回、今年度年4回の巡回訪問でその時々の問題に対して具体的に且つ的確に指導助言をいただくことにより保育士の悩みが解消されていき当該児童との信頼関係を築きクラスづくりをしていくことに繋がっております。また、保育のその時の問題点を目を向け解決する方法を自分たちで探すことができることに発展させていきたいと思えます。

## (助言の具体的内容)

○体づくりとして「サーキット」「変身遊び」「リトミック(ストップ&

ゴー)」体幹を鍛えたり、生活に必要な動作の土台づくり。

○日常生活の中で

- ・待ち時間をつくらないような準備、活動の構成。
- ・視聴覚教材(絵や写真)でスケジュール確認をできるようにする。



- ・クラスの掲示物はすっきりと。
- ・生活のルーティン化で次の行動に移り易くすることで自分でできるという自信を持たせる。
- ・主の保育者以外しゃべりすぎない。主の保育者も言葉をかけすぎない等。

専門機関との連携は子どもたち、保護者そして保育者にとって、必要なことであることを感謝の念の中、実感しております。令和4年1月記

令和3~4年度 部員、委員名簿 (令和4年2月現在)

保育部員

区分	氏名	職名	施設名
部会長	寺島 美智子	館長	生坂村児童館・生涯学習施設
副部会長			
上田	尾嶋 美保子	園長	神科第一保育園
飯田	野神 美穂	園長	座光寺保育園
塩尻	古谷 裕理	園長	吉田原保育園
長野(私)	工藤 貴久美	主任	大豆島保育園
南佐久	依田 聡子	主任	南相木村保育所
北佐久	山口 恵理	園長	たてしな保育園
小県	橋詰 照美	主任	青木村保育園
上田	佐藤 まゆみ	主任	さなだ保育園
小諸	三井 祐美子	主任	南保育園
佐久	篠原 早希	副主任	岩村田北保育園
東御	菊地 美和子	園長	祢津保育園
諏訪郡	中村 君江	主任	原村保育園
上伊那	有賀 ちまり	園長	三日町保育園
下伊那	板山 裕子	所長	大鹿保育所
岡谷	小口 みさき	園長	小口保育園
飯田	伊藤 聡子	主任	慈光松尾保育園
R4実行委員長	鈴木 康子	園長	鼎みつば保育園
諏訪	笠原 恵	園長	城北保育園
伊那	向山 瑞穂	園長	竜西保育園
駒ヶ根	上久保 真須美	園長	中沢保育園
茅野	小池 千恵子	園長	小泉保育園
木曾	早川 裕子	主任	読書保育園
東筑摩	塚原 京子	園長	麻績保育園
北安曇	榛葉 啓子	園長	認定こども園松川北保育園
松本	高橋 典子	園長	島内保育園
"	西澤 朋味	主任	梓川東保育園
大町	勝野 敬子	園長	あすなる保育園
安曇野	滝沢 真紀	園長	明科南認定こども園
上高井	牧 益子	園長	たかやま保育園
北信	丸山 由利子	園長	よませ保育園
上水内	根津 ちひろ	園長	野尻保育園
長野(公)	武田 久江	園長	西部保育園
"	宮本 智栄美	主任	なかじょう保育園
長野(私)	寺嶋 玲子	主任	北条保育園
須坂	森川 幸子	園長	井上保育園
中野	富岡 幸子	園長	たかやしろ保育園
飯山	橋澤 洋子	副主幹	秋津保育園
ちくま	坂井 恵子	園長	五加保育園
助言者	川上 真実	長野県こども・家庭課 保育専門推進員兼私学振興専門員	

管理部員

区分	氏名	職名	施設名
公立	部会長	市川 真紀	園長 田口 保育園
	副部会長	守矢 千鶴	園長 金沢 保育園
	東信	岸部 睦美	園長 和田 保育園
	南信	佐野 由紀恵	園長 美須津 保育園
	中信	澤口 美奈子	園長 日義 保育園
	"	笠井 幸江	園長 認定こども園池田 保育園
	北信	丸山 友紀	園長 富士里 保育園
	"	中村 さおり	園長 東部 保育園
	担当副会長	加藤 麗	園長 あやめ 保育園
	部会長	岩田 守弘	園長 佳里 保育園
私立	副部会長	塩原 智子	園長 慈光 保育園
	東信	小林 鉄平	園長 あゆみ 保育園
	"	藤原 昌子	園長 よここうち認定こども園
	中信	大槻 英美	園長 ドン・ボスコ 保育園
	北信	大西 清美	園長 ひよこ 保育園
	長野	安川 哲生	園長 下氷鉤 保育園
	"	北島 京子	園長 杉の子第3 保育園
	"	北澤 陽	園長 フレンドこども園
	担当副会長	峰川 暁見	園長 芹田東部 保育園

給食委員

区分	氏名	職名	施設名
委員長	鈴木 しのぶ	園長	下平幼稚園
副委員長	三嶋 真子	栄養士	小柴見 保育園
"	小原 清子	調理員	中山 保育園
東信	角田 敏江	主任	美里 保育園
"	賀川 明子	管理栄養士	上田市子ども未来部
"	古越 啓子	栄養士	聖愛 保育園
南信	矢本 怜子	管理栄養士	南箕輪村子育て支援課
"	田尻 裕美	栄養士	城南 保育園
中信	河野 真由美	主任	坂井 保育園
"	中島 茂子	主任	きそふくしま 保育園
北信	橋詰 美由紀	主任	東条 保育園
"	宮尾 紀子	栄養士	北信 保育園
担当副会長	長谷川 聡子	園長	とがり 保育園
助言者	飯田 光子	長野県こども・家庭課 保育専門推進員兼私学振興専門員	

広報委員

区分	氏名	職名	施設名
委員長	高橋 桂子	園長	成田 保育園
東信	塩沢 茜	主任	たてしな 保育園
"	小林 朋子	園長	泉田 保育園
南信	向山 恵	園長	若草 園
中信	中村 洋美	園長	宗賀中央 保育園
"	平川 美智子	園長	三郷北部 認定こども園
北信	池田 陽子	園長	永田 保育園
"	久保 浩司	園長	ころぼっくる 保育園

# 準会員について

今年度、保育関連事業者の準会員として、次の3社が入会されました。入会にあたり、事業者の行う販売又はサービスについて正副会長会議で説明いただき、いずれも準会員として入会を認めるとの決定をいただきました。

3社の販売・サービスに関する情報を、長野県保育連盟会員あて提供（ホームページ、電子メールなど）し、販売実績などに応じ3社から斡旋手数料又は会費が当連盟に納入されます。今後、3社に関する情報提供を行うてまいりますので、よろしくお願いたします。

## 1 日本トリム株式会社

家庭用整水器、医療用整水器、ポトルドウォーターの販売などが主要事業です。

当連盟会員向けに「電解水素水整水器」を販売し、販売価格の10%が、紹介手数料として当連盟に納入されます。

## 2 中央法規出版株式会社

高齢者福祉・児童・障害者福祉、介護福祉、医療・保健、看護分野などの六法、法令書の出版社です。

保育関連の図書、研修テキスト、ハンドブックなどを多数出版しています。

当連盟会員向けに専門書籍・DVDなどを販売し、販売価格の10%が、斡旋手数料として当連盟に納入されます。

## 3 中央電力株式会社

電力供給サービスを行います。契約、販売実績に関わらず、定額で会費9万8千円（年額）を納入いただきます。

以上3社の他、平成11年に株式会社サンワールドと覚書を締結し、賛助会費を納入いただいています。ご活用を、お願いいたします。

# お知らせ

## 1 関東ブロック保育研究大会

令和4年度の関東ブロック保育研究大会は、東京都での開催ですが、全体会はオンデマンド配信、分科会はオンデマンド配信とライブ配信で開催されます。詳細は、開催要綱（3月配布予定）をご覧ください。多数の皆様のご参加を、お願いいたします。

なお、当県から第2分科会は塩

尻市高出保育園、第5分科会は飯田市（私）時又保育園が、意見発表（オンデマンド配信）を行います。

## 2 教育・保育施設長専門講座

全国保育協議会が、毎年3回の講座プログラムを開催しています。1講座の受講料は3万円又は3万5千円ですが、会員が受講する場合、1人1講座当たり2万円の助成をしています（受講料を負担している施設又は個人に助成）。令和3年度は、総額20万円を予算化しました。令和4年度も引き続き予算化しますので、積極的に受講してください。



# 編集後記

毎週、毎月の会議で「コロナ禍」だからその内容の協議が繰り返されております。

今、世の中のことには「コロナのせい」で片付けられていることが大半であろうと感じます。

「コロナのせい」を「コロナのおかげ」に転換できるとしたら、コロナだったからこそ「見直し」ができたこともあるかと思えます。

実際我が保育園でも、全体であたりまえのように行ってきた行事を分散化したことで、今まで見えなかった一人一人の姿や成長が感じられたこともありました。

マイナスをプラスにする捉え方にすることで、これから先のいろいろな状況を良い方向にもっていかれるのではないかと感じます。

いまがあるからこそ、コロナが収束した際に又、見える景色も変わってくるかと思えます。それまでの辛抱と思わず、我慢と思わず、前向きに今できる事をプラス思考で捉えお互い進んでいきましょう。

広報委員長